

情報の入手先

テレビやラジオのほか、パソコンや携帯電話からインターネットで最新の情報を入手することができます。



Eメールで

登録すると気象情報や災害情報がメールで配信されます（通信費などは利用者負担）。

つやま災害情報メール（市内の被害状況や雨量状況、避難勧告など）

<http://keitai.tsuyama-mail.jp/>

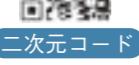
<http://www.tsuyama-mail.jp/>



二次元コード

岡山県防災情報メール（警報などの気象情報や河川水位、ダムの放流情報など）

<http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/mail.jsp/>



二次元コード



ホームページで

市ホームページ（緊急避難所マップや防災ハザードマップなど）

<http://www.city.tsuyama.okayama.jp/>



二次元コード

岡山県総合防災情報システム（県内の災害発生状況や避難情報など）

<http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/>



二次元コード

災害情報の連絡先

がけ崩れや家屋の浸水などの災害が発生したり、災害が起こりそうな場所を発見したらご連絡ください。



■危機管理課 ☎32-2042

■消防署 ☎31-1119

「警報」が発令されたら…

- 災害警戒(対策)本部 ☎23-2130
- 加茂支所市民生活課 ☎32-7032
- 阿波支所市民生活課 ☎32-7042
- 勝北支所市民生活課 ☎32-7021
- 久米支所市民生活課 ☎32-7011

問い合わせ先 危機管理課（市役所3階）☎32-2042

地域力で災害に備える

「自分たちの地域を自分たちで守ろう」

高齢者や障害者、乳幼児などは災害時に自分の身を守ることが困難です。実際に犠牲者の多くが一人暮らしのお年寄りや高齢者のみの世帯です。災害時の避難や救出時に支援が必要となる人を守るためにも「自主防災組織」のような地域で支える体制づくりが必要です。



大谷町内自主防犯会

会長 中村 行夫さん

大谷町内は、人口が減少してきており、高齢者の割合がとても高いのです。「いざという時に助け合える

のか？行政ばかりを頼らず、自分たちでできることをしよう！」と平成17年にこの会を結成しました。

活動は、町内全戸の世帯票を作成し、一人暮らしのお年寄りなどの災害時要援護者や危険箇所を把握することから始めました。現在は、危険箇所を定期的に点検したり、枕木とジャッキを使用した救出や薪を燃料にした炊き出しなど、実践的な訓練を行っています。また、町内会の運動会では、竹の棒2本と毛布で担架を作つて人を運び、タイムを競い合

いました。楽しみながら訓練ができることができたと思います。

組織を作り継続していくためには、行政からの補助などをあてにしても長続きはしないものです。「自分たちの地域を自分たちで守る」という気持ちを皆が持ち続けることが大切です。町内では、熱心に取り組む高齢者の姿に若い世代の人々が触発されています。活動を通して町内のコミュニケーションも一層活発になりました。

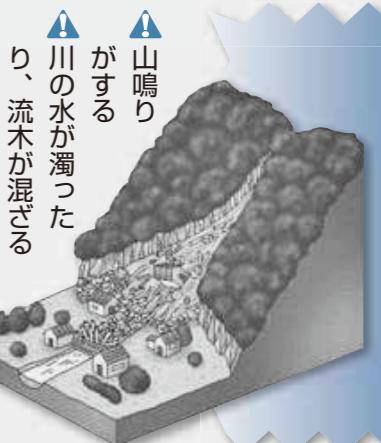
地域によって異なりますが、1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の雨が続いたら災害の危険性が高くなります。浸水対策を含めて、十分な警戒が必要です。局地的な集中豪雨は予測できないことが多いので、大雨情報を聞いたら早めの準備が必要です。避難は、避難勧告・避難指示が出た時はもちろんのこと、危険を感じたら自主的に避難してください。

土砂災害は前ぶれに注意！

土砂災害には次のような前ぶれがあると言われています。現象を見掛けたら早めに避難し、すぐに市へ連絡してください。



早めの避難が身を守る！



土石流の前ぶれ

避難時の注意点

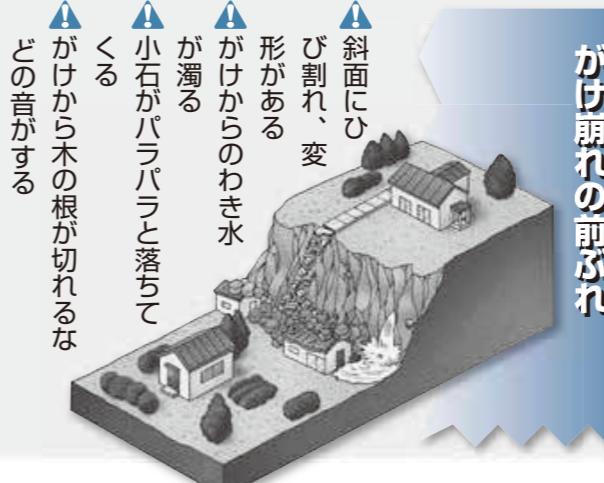
- 火の元を確認する（ガスの元栓をしめ、電気のブレーカーを落とす）
- 荷物は最小限の「非常持ち出し品」に限る
- 外出中の家族あてに避難先を書いたメモを自立つ場所に残す
- 単独行動はしない（2人以上で。状況によっては、はぐれないように互いをロープで結ぶ）
- 移動時は、川べりなど危険性の高い場所は避ける

ヘルメット（防災ずきん）をかぶる

- 長袖・長ズボンを着用する
- 軍手などをはめる
- 靴は底が厚く履き慣れたものを着用する



地滑りの前ぶれ



がけ崩れの前ぶれ

- 飲料水
 - 食品（カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレート）
 - 貴重品（預金通帳、印鑑、現金）
 - 救急用品
 - 懐中電灯
 - 衣類（セーター、ジャンパー類）
 - 下着
 - 毛布、タオル
 - 携帯ラジオ、予備電池、携帯電話
 - マッチ、ろうそく（水に濡れないようにビニールでくるむ）
 - 使い捨てカイロ
 - ワットティッシュ
 - 筆記用具
- *年に一度はチェックして、新しい物と交換しましょう

非常持ち出し品

両手が使えるようリュックサックなどに入れておくと便利です

下の例を参考に家庭の実情に合わせて、必要な物を付け加えてください。

